

登録コード	E7111300	開講年度	2026				
授業科目	教育実践科学演習					担当教員	高柳 充利
英文授業名	Seminar in Educational Practical Science II					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育N 3 1 9			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観について自分なりに考えを深めることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能について自分なりに考えを深めることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	教育実践科学ユニットの各研究室の学問的特質を活かした授業を行う。関心ある領域ごとにグループに分かれ、その領域を専門とする担当教員のイニシアチブのもと、教育実践にかかわる様々な問題を、専門的な観点から考察し議論し合う授業スタイルを採用する。						
(5)授業計画	第1回 導入：授業の方針と各領域の特色（合同開催：N302） 第2回 教育学研究の目的（各研究室：高柳，越智，安達ほか） 第3回 教育学研究の手法（各研究室：同上） 第4回 教育学研究の評価（各研究室：同上） 第5回 戦後日本の代表的研究事例（各研究室：同上） 第6回 現代日本の代表的研究事例（各研究室：同上） 第7回 海外の代表的研究事例（各研究室：同上） 第8回 研究論文の作法：技術面（各研究室：同上） 第9回 研究論文の作法：内容面（各研究室：同上） 第10回 課題研究 1：テーマの選出（各研究室：同上） 第11回 課題研究 2：先行研究の発掘（各研究室：同上） 第12回 課題研究 3：構想と構成（各研究室：同上） 第13回 課題研究 4：執筆と推敲（各研究室：同上） 第14回 研究課題 5：発表と応答（各研究室：同上） 計画については変更を加える場合もある 第14回は授業アンケートの実施を含む。 教育実習における欠席分の補講については、欠席する回の担当教員に事前に申し出て指示を仰ぐこと。						
(6)成績評価の方法	成績評価は次のような事項を参考に行う予定であるが、受講の状況によって調整を図る場合もある。 ・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観について教育学の視座から発想することを試みる発表（およそ60％） ・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観について教育学の視座から共有することを試みる討議への参加（およそ40％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり,(ii) その問題の背景を説明できており,(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており,(v) その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもって観察・思索すること。 事後学習：授業で扱われた事項について、生活のなかで読書や討議の機会をみつけ、思考を深めること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。 従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	教育実践科学ユニットの専門性を各研究室の学問的観点から深める授業である。 授業時間以外において各自の関心に基づき適宜学びを深めることが求められる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	【窓口：高柳】オフィスアワーの実施場所：N316，曜日・時間（在室の時はいつでも）。連絡先（研究室電話番号：026-238-4215，メールアドレス：takayana@shinshu-u.ac.jp）						
【教科書】	全体としては指定しない。ただし、授業担当教員から個別に推奨がある可能性もある。						
【参考文献】	授業のなかで適宜紹介する。						